

:: 指定管理者制度導入施設 モニタリング・シート ::

評価年月日: 令和1年8月23日

<b>1 基本事項</b>	
公の施設の名称	市民・大学交流センター(ユニコムプラザさがみはら)
指定管理者の名称	公益社団法人 相模原・町田大学地域コンソーシアム
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日
施設設置条例の名称	相模原市立市民・大学交流センター条例
施設の設置目的	市民と大学等との連携により、地域の課題の解決及び地域の活性化を図る (相模原市立市民・大学交流センター条例第2条)
施設概要	床面積 2,965.82㎡ 構造 鉄筋コンクリート造 施設 セミナールーム1・2、実習室1・2、ミーティングルーム1・2・3・4・5 マルチスペース、AVスタジオ、シェアードオフィス1・2・3、 大学情報コーナー、地域情報コーナー
施設所管課の名称	市民局 市民協働推進課

<b>2 管理実績</b>							
項目(単位)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
利用者数合計(人)	117,896	175,786	168,556	192,758	185,025	178,206	
利用料金合計(円)	15,413,443	21,537,324	25,065,128	26,581,077	30,236,670	30,510,633	

<b>3 成果指標の達成度</b>		現在の指標は28～30年度の募集時のもの。
施設の設置目的や施策の達成度を客観的に評価するため、指定管理者の募集において示した成果指標。		
指標名(単位)	【指標1】有料施設の利用率(シェアードオフィス、大学情報コーナー、地域情報コーナーを除く)(%)	
指標式と指標の説明	指標式: 有料施設の利用コマ数 / 有料施設の利用可能コマ数 × 100 有料施設の利用率を指標とすることで、施設の活用を図るとともに、施設利用者への施設の設置目的を推進するもの。	

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
目標値(%)	-	-	-	70.0	75.0	80.0	
実績値(%)	43.5	59.6	66.7	68.5	69.1	75.8	
達成度(%)				97.9	92.1	94.8	

指標名(単位)	【指標2(1)]有料施設の利用率(シェアードオフィス)(%)	
指標式と指標の説明	指標式: 利用日数 / 利用可能日数 × 100 シェアードオフィス、大学情報コーナー、地域情報コーナーの利用率を指標とすることで、大学の情報の発信及び地域活動及び市民活動を推進するとともに、大学との連携を図っていくもの。	

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
目標値(%)	-	-	-	70.0	75.0	80.0	
実績値(%)	52.4	54.8	69.0	59.5	50.8	43.8	
達成度(%)				85.0	67.7	54.8	

指標名(単位)	[指標2(2)]有料施設の利用率(大学情報コーナー)(%)
指標式と指標の説明	指標式:利用日数/利用可能日数×100 シェアードオフィス、大学情報コーナー、地域情報コーナーの利用率を指標とすることで、大学の情報の発信及び地域活動及び市民活動を推進するとともに、大学との連携を図っていくもの。

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
目標値(%)	-	-	-	100.0	100.0	100.0	
実績値(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	93.3	
達成度(%)				100.0	100.0	93.3	

指標名(単位)	[指標2(3)]有料施設の利用率(地域情報コーナー)(%)
指標式と指標の説明	指標式:利用日数/利用可能日数×100 シェアードオフィス、大学情報コーナー、地域情報コーナーの利用率を指標とすることで、大学の情報の発信及び地域活動及び市民活動を推進するとともに、大学との連携を図っていくもの。

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
目標値(%)	-	-	-	70.0	75.0	80.0	
実績値(%)	55.6	33.3	33.3	29.8	47.7	88.9	
達成度(%)				42.6	63.6	111.1	

指標名(単位)	[指標3]地域活動や市民活動を行う市民の課題の抽出(件)
指標式と指標の説明	課題の件数 地域活動や市民活動を行う市民の課題を把握し、その課題の中で、大学と連携させる案件を抽出することで、市民と大学との連携の推進が図られるもの。

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
目標値(件)	-	-	-	50	60	70	
実績値(件)	-	-	-	79	78	74	
達成度(%)				158.0	130.0	105.7	

指標名(単位)	[指標4]地域活動や市民活動を行う市民と大学との橋渡し件数(件)
指標式と指標の説明	橋渡し件数 市民と大学との連携(協働)による新たな市民活動や地域活動を創出するイベントやシンポジウム等企画から運営まで携わった件数を指標とすることで、市民と大学との連携が強化され、地域の課題解決及び活性化が図られるもの。

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
目標値(件)	-	-	-	15	20	25	
実績値(件)	3	11	6	8	20	26	
達成度(%)				53.3	100.0	104.0	

4 評価		
指標名(単位)	評価	コメント
施設の設置目的の達成度	B	<p>・指標1～指標4の達成度の平均値が97.7%であることから、評価は「B」とするが、施設の設置目的の達成に直接的に関係する成果指標4の達成度は高く、定量的な評価が難しい様々な取組をしていることを踏まえると、「A」に近いといえる。</p> <p>・引き続き設置目的の達成に向けた工夫に取り組むとともに、評価方法の見直しも検討が必要と考える。</p> <p>・指標1の達成度については、94.8%となっている。引き続き、利用率向上のための取組を期待する。</p> <p>・指標2については、シェアードオフィス54.8%、大学情報コーナー93.3%、地域情報コーナー111.1%となっており、3施設の達成度の平均値は86.4%となっている。平均値で前年度より9ポイント上昇しており、取組の効果が表れている。引き続き、利用率向上のための取組を期待する。</p> <p>・指標3については、センター来場者から収集した情報だけでなく、区民会議及び地区まちづくり懇談会の傍聴を実施するなど、センターの外部から積極的に収集した情報により、実績は74件(105.7%)となっており、内容、結果ともに評価できる。</p> <p>・指標4については、市民と大学のニーズ・シーズの情報等を活用し、様々な機会を捉えて、市民と大学が連携を深め、課題を共有し、地域課題の解決や地域の活性化に取り組んだ結果、実績は26件(104%)となっており、評価できる。</p>
事業・業務の履行状況	A	<p>・モニタリング基礎シート(様式1)のすべての評価項目について、指定管理者の履行状況等が、評価の視点を満たしており、一部に優れた取組があったことから、評価は「A」とする。</p> <p>・「まちづくりモデル事業」による団体等の支援や、大学等によるフリースペースの有効活用、「学生の地域活動スタートアップ事業」などによる学生の施設活用の取組、橋渡しの実績などの取組は、施設の設置目的に適合し、優れているものと評価できる。</p>
利用者満足度の向上度	B	<p>・モニタリング基礎シート(様式2)の達成度が93.7%であることから、評価は「B」とする。</p> <p>・利用者満足度調査や、各種のアンケートにおける意見・要望等について検討し、引き続き満足度の向上に向けた取組に努めていただきたい。</p> <p>・現在の利用者満足度調査は、施設利用の受付に関することを中心とした設問となっているため、センターにおける事業の内容的な満足度を把握する方法についても、検討いただきたい。</p>
財務状況の適正性	S	<p>・平成30年度の決算において、収入が支出を上回っている。</p> <p>・貸借対照表から、正味財産は約704万円(前年度比約205万円の増額)となっており、公益社団法人の財務状況として特段の課題はなく、適正な状況と評価できる。</p> <p>・引き続き公益社団法人として、適正な範囲での収益を確保するよう努めていただきたい。</p>

【施設の設置目的の達成度】の評価基準

モニタリングシート(3 成果指標の達成度)における「達成度」の内容について、次の基準により評価する。

- S: 当該年度の達成度が110%以上
- A: 当該年度の達成度が100%以上110%未満
- B: 当該年度の達成度が90%以上100%未満
- C: 当該年度の達成度が80%以上90%未満
- D: 当該年度の達成度が80%未満

【事業・業務の履行状況】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式1)における「評価」の内容について、次の基準により評価する。

- S: 全ての評価項目に「A」または「B」がつき、「C」の数が評価項目の総数の3分の2以上である。
- A: 全ての評価項目に「B」または「C」つき、「D」の数が評価項目の総数の3分の2未満である。
- B: 全ての評価項目が「C」である。
- C: 「A」と「B」のどちらもつかない項目が1つある。
- D: 「A」と「B」のどちらもつかない項目が2以上ある。

【利用者満足度の向上度】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式2)における“達成度”の内容について、次の基準により評価する。

- S:当該年度の達成度が110%以上
- A:当該年度の達成度が100%以上110%未満
- B:当該年度の達成度が90%以上100%未満
- C:当該年度の達成度が80%以上90%未満
- D:当該年度の達成度が80%未満

【財務状況の適正性】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式3)における“3 指定管理者の団体本体の経営状況”の内容について、次の基準により評価する。

S:評価対象年度の決算において、収入が支出を上回っており、かつ選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合

A:評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っておらず(収支が一致している。予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合

B:評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っている(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合

C:評価対象年度の決算において、本社等から繰入れを行っており(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、または選考委員会による意見として本体の経営状況に「若干の懸念がある」とされた場合

D:評価対象年度の決算において、本社等から繰入れを行っており(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、かつ選考委員会による意見として本体の経営状況に「重大な懸念がある」とされた場合

「財務状況の適正性」の項目については、グループ全体としての評価とする。(複数の施設をグルーピングしている場合のみ)

客観的評価として以上の基準によりS～Dを判定し、選考委員会の意見を踏まえて調整することも可能とする。

5 施設所管課による総合評価

コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度の指定管理業務については概ね良好で、人員体制の強化とマネジメント体制の確立により更なる改善が図られた。</li> <li>・センター内外からの情報収集に取り組み、整理した情報を有効に活用し、橋渡し件数が目標値を上回っていることは評価できる。</li> <li>・「まちづくりモデル事業」による団体等の支援や、大学等によるフリースペースの有効活用、「学生の地域活動スタートアップ事業」などによる学生の施設活用など、新たな取組に着手したことは評価でき、引き続き施設の活性化に努めていただきたい。</li> </ul>
------	--

6 指定管理者選考委員会による評価

評価実施日	令和1年8月23日
コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般的には、施設の設置目的の達成に向けて多様な取組を実施しており、良好であると評価できる。</li> <li>・施設の設置目的や指定管理者が行っている事業について、簡潔にまとめた紙ベースの資料を作成して活用するなど、周知方法の一層の工夫に期待する。</li> <li>・利用率は前年度比で増加している反面、利用人数は減少しているため、それらの原因を分析し、利用人数の向上にも努めていただきたい。</li> <li>・現在の利用者満足度調査は、施設利用者の90%が満足することを目標値とする厳しい基準としており、その中ではよくやっていると評価できる。今後、調査項目を検討するにあたり、目標値の妥当性についても検討を要する。</li> <li>・財務状況については、公益法人であることを十分に認識し、引き続き適正な運営に努めていただきたい。</li> </ul>